

2023年度〇〇〇園 剣道年間指導計画案

園 確 認 印		責 任 者 印		講 師 印	
------------------	--	------------------	--	-------------	--

- ◆ 心身共に健康で体力のある子どもを育てる方法の一つとして剣道を取り入れ、園児たちの剣道に対する素朴な興味や意欲を大切にしながら一方的なおしつけにならず、楽しい剣道授業になるようすすめていきます。また姿勢を良くし、礼儀正しく園生活にメリハリが出てくるように指導していきたいと考えます。

《ねらい》

- ★ 暑い時も寒い時も年間を通して活動することで、健康の保持及び増進を図ります。
- ★ 剣道は、正しい構え、正しい打突姿勢を常に練習することで、日常生活でも良い姿勢が養われます。
- ★ 礼、正座、黙想などにより規律正しい態度を身につけ、また、剣道の約束をみんなで守ろうとすることで協調性を養います。

《活動内容》

月	日	主な内容	指導上の留意点	園行事
4	14	★剣道の話	◆興味をもち、意欲ができるように話しかける。	
	21	1、剣道の並び方（整列） 2、正座・黙想・座礼	◆二列で素早く並べるようにする。	
	28	3、剣道の約束・発声 4、足さばき・送り足	◆正座で姿勢をただし、お腹から声を出す。	
5	12	★1～4を実施	◆左手で正しく持つ。	
	19	5、竹刀の持ち方（揚げ刀・帯刀）	◆中段の構えから両手を頭の上まで大きく振り上げ、	
	26	6、中段の構え 7、上下振り 8、その場正面素振り	真っすぐ膝の高さまで振り下ろす。	
6	2	★1～8を実施	◆中段の構えから大きく振りかぶり、振り下ろすとき	
	9	9、前進後退正面素振り	竹刀の剣先を頭の高さで止める。	
	16	10、二人組正面打ち（交互受打）		
	23 30			
7	7	★1～10を実施	◆お互いに向かい合い、打たせる人は頭の前で竹刀を	
	14	11、二人組前進後退正面打ち（交互受打）	横にしてしっかり持つ。打つ人は竹刀の先の方が 当たるように面を打つ。	
9	8	★1～11を実施	◆大きく振りかぶり、思いっきり打ち込む。	
	15	12、とび込み面打ち（空間打突）	◆先生の竹刀に、大きな声で思いっきり打ち込む。	
	22	13、とび込み面打ち（先生の元立ちで）		
	29			
10	6	★1～13を実施	◆まっすぐ大きく振りかぶり、ななめに振り下ろす。	
	13	14、ななめ面素振り	（左右）	
	20	15、前進後退ななめ面素振り		
	27			
11	10	★1～15を実施	◆受け側は竹刀をしっかりとぎる。	
	17	16、とび込み面打ち（子どもの元立ちで）	◆受ける人は、左側に一歩動き打たせる。	
	24			
12	1	★1～16を実施	◆受ける人は、打ちやすいように構えてあげる。	
	8	17、二人組ななめ面打ち（交互受打）		
	15			
1	12	★1～17を実施	◆とび込み面打ち—ななめ面打ち（前進4回後退5回、	
	19	18、切り返しI（号令あり）	連続計9回）とび込み面打ちを行なう。	
	26			
2	2	★1～18を実施	◆「切り返しはじめ」のみの号令で行なう。	
	9	19、切り返しII（号令なし）		
	16			
3	2	★1～19を実施	◆今までの総まとめをする。	
	9	20、まとめ		
	16			

	1 学期	2 学期	3 学期	総合計回数
指導回数	13	14	9	36